

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立平井東小学校

校長名 大辻 隆夫

名称:総合

学校の教育目標	・考える子ども(重点目標) ・助け合う子ども ・じょうぶな子ども ・進んで取り組む子ども
----------------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標
<p>1 横断的・総合的な学習や探究的な学習をする。</p> <p>2 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決できるようにする。</p> <p>3 対象に積極的に関り、互いに学び合い、課題を追求する力を養う。</p>

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 問題状況の中から課題を発見し、設定する。 必要な情報を収集し分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画する。 多様な情報の中にある特徴を見付ける。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現する。 自己の生活のあり方を見直し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と協同して課題を解決する。 地域や世界の一員としての自覚を持ち、よりよい生活を送る工夫をする。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 自己の行為について意志決定する。 自己の生活のあり方を見直し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。 自己の将来を考え、夢や希望を持つ。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・地域に暮らす人々が大切にしている文化や価値観及び環境学習	・地域の文化や伝統のもつ特徴やその継承に力を注ぐ人々
第4学年	・荒川をはじめとする身近な自然環境とそこに起きている環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の存在とそのよさ 環境問題と自分たちの生活とのかかわり 荒川の洪水から身を守る。(ハザードマップの活用)
第5学年	・難民をはじめとする国際的な問題及び環境学習	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な問題と自分たちの生活とのかかわり 難民支援に関わる人々の取り組み
第6学年	・世界の様々な国の歴史や文化と日本とのかかわり及び環境学習	<ul style="list-style-type: none"> 世界各国の歴史や文化の理解と尊重 世界における日本の果たす役割や温暖化対策

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 3年生は地域社会、4年生は環境、5・6年生は国際理解を主なテーマとする。 4年生が荒川をはじめとする環境学習に年間を通して取り組み、地域の自然を愛する心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の課題意識を連続・発展させる支援 個に応じた支援の工夫 協同的な学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> チームティーチングの日常化 地域学習のための市民団体との連携 担任外の教職員やゲストティーチャーによる支援体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを活用した評価の充実 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 個人内評価の重視